



公益社団法人 兵庫県放射線技師会
神戸市中央区元町通 5-2-3-1011
TEL : 078-351-5172
FAX : 078-351-2309
<http://www.hyogo-rt.org/>
発行者/清水 操
編集責任者/日下 亜起子

第25回兵庫県放射線技師会学術大会 演題募集のお願い

今年度は、神戸東支部の協力のもと、学術大会を開催致します。
つきましては、会員の皆様の研究発表等を募集していますので、奮ってご応募下さい。

演題募集：一般演題「自由演題」

テーマ演題「PACS・医療安全・技師読影技術・放射線被ばく」

申込み方法：前抄録としてワード形式A4サイズ 1枚 を下記の方法にて申し込んで下さい。

詳細は【抄録原稿の書式】をご覧ください。(出来るだけ、ご発表内容がわかるようにお願いします。)

《メール》 E-mail: gakujutsu25th@yahoo.co.jp (神澤あて)

《郵送》 CDの場合、下記までお願いします。

〒650-0022 神戸市中央区元町通5丁目2-3-1011

公益社団法人 兵庫県放射線技師会 宛

演題募集期間:平成25年8月5日～平成25年9月6日まで

【学術大会開催内容】

日時:平成25年11月24日(日曜日) 9:30～17:00(予定)

会費:会員 1,000円 会員以外 2,000円

大会テーマ:「価値への創造」～安心できる医療を求めて!～

場所:神戸市立東灘区民センター うはらホール(JR住吉駅 徒歩2分)

〒658-0052 兵庫県神戸市東灘区住吉東町5-1-16

お問い合わせ:神戸大学 医学部附属病院 放射線部078-382-6383

学術理事 神澤 匡数 gakujutsu25th@yahoo.co.jp

【抄録原稿の書式】

- 1) A4版ワープロ入力(office Word 2007 以下でお願いします)。
- 2) 原稿は1,000～1,500字程度、横書き入力。図等がある場合は1ページに収まるよう調整してください。
- 3) 余白は、上35mm、下30mm、右30mm、左30mmでお願いします。
- 4) 本文は明朝体10.5ptを使用し、英数字は半角 times 系(望ましい)か Century を使用してください。
- 5) 句読点は、「、」と「。」を使用。
- 6) 上段に、中央揃で、題名、演者の氏名を書いてください。題名のみ12pt 太字にしてください。
- 7) 図表のサイズは1MB 以内でお願いします(メールで送受信可能な範囲)。

—厚生委員会—

第19回 新入会員歓迎交流会報告

みだしの交流会を6月29日～30日に予定どおり開催しました。

参加者数は19名(内訳:未入会の方4名、入会后5年未満の会員7名、入会后5年以上の会員8名)でした。

未入会の方及び入会間もない若手技師と様々な立場の先輩技師が、放射線技師の仕事や放射線技師会の活動について相談できる非常に有意義な交流会となりました。未入会の方には、この交流会を契機に是非とも入会いただければと思います。

参加されました皆様、本当にありがとうございました。

今回は、11月頃(場所未定)に開催する予定です。詳細は今後の兵放技ニュースでお知らせします。

(厚生委員 原)

原子力災害や放射線災害に関する 緊急被ばく医療の初期対応研修会 開催延期のお知らせ

原子力災害やテロを含む放射線災害発生時に迅速かつ適切な対応が図れるように、被災者に対するサーベイメータを用いた汚染のスクリーニングを中心とした訓練講習会を開催する予定でしたが、諸般の事情により開催を延期とさせていただきます。

新たな開催日程につきましては、日程が確定次第、改めてお知らせいたします。

この度、ご予約を検討していた皆様に深くお詫びいたします。

兵庫県放射線技師会事務局 TEL 078-351-5172
後藤 : yoshihirogotoh@yahoo.co.jp

—渉外委員会—

「2013みき 健康づくりの集い」開催の お知らせ

兵庫県放射線技師会では、毎年このイベントに参加して県民の健康づくりに寄与できる活動しております。

ご興味のある方は、ご家族で是非参加して下さい。

日時 : 平成25年9月1日(日)9:30～15:00

場所 : 三木市総合保健福祉センター

主催 : 三木市

テーマ : 「 Let's Enjoy 健康 Life 」

内容 : 救急コーナー・国保コーナー・献血コーナー・薬剤師会コーナー・栄養士会コーナー・放射線技師会コーナーなど様々な催しがあります。

詳細は三木市ホームページをご覧ください。

(問い合わせはメールでお願いいたします。)

hattori_hp_x_ray_matsuzaki@yahoo.co.jp 松崎博貴)

—組織委員会—

第9回マンモグラフィ技術講習会 受講者募集のお知らせ

期日 : 平成25年10月12日(土)～13日(日)

会場 : 医療法人 社団 慈恵会 神戸総合医療専門学校

受講資格 : 診療放射線技師 等

募集人数 : 50名(更新講習者枠はありません)

締め切り日:8月31日(定員を超えた場合は期日を待たずに締め切ります)

申し込み:兵庫県放射線技師会ホームページより

Webにて登録

お問い合わせ

第9回マンモグラフィ技術講習会 担当 伊関 恵美子
兵庫県立がんセンター 放射線部

TEL 078-929-1151

E-mail hyougo2013gishikai@yahoo.co.jp

—厚生委員会—

ハイキング同好会 9月例会の お知らせ

日本で第3位の高さを誇る奥穂高(3190m)に登ります。
「健脚向」

日時 : 平成25年9月13日(金)夜

バス出発～16日(祝)夜帰神

コース : 9/14 上高地～涸沢 標準歩行時間 7時間

9/15 涸沢～奥穂高～涸沢～横尾

標準歩行時間 8時間

9/16 横尾～上高地 標準歩行時間 3時間30分

宿泊予定小屋 : 涸沢ロッジと横尾山荘

参加費用 : お問い合わせください。

9月1日 六甲山でトレーニングがあります。

問い合わせは 赤松 暁 079-438-2461

—広報委員会—

会員専用サイト(member's site)
入室用IDとパスワードの発行

本会ホームページの「ID・PASSWORD発行」をクリック！！
入力後、ご登録いただいたメールアドレスへ「IDとPASSWORD」を発信します。これを用いて、「member's site」へ入室下さい。
一度取得されたIDとPASSWORDで、月が替わっても入室できます(ID、PASSWORDは自由に変更できます)。

現在、「会員専用サイト」では「求人・求職情報」・「調査報告」等が閲覧できます。



—神戸西支部—

第77回こうべ胃検診の会のお知らせ

8月の研修会は、症例を中心に、見ていただき、前回や前々回の画像から前壁の撮影技法を検討する予定です。

今年も、撮影技法や認定・厚労省の見解についても質疑応答や会員以外の参加等、交流を深めたいと思っております。また、胃がん認定技師の更新にカウントされますので、皆様奮ってご参加頂くとともに、参加連絡の方もよろしく願います。

内 容 (予定)

- 1 症例検討
- 2 認定更新について

日程及び場所 (予定)

平成25年8月9日(金)

兵庫県健康財団荒田特別3F会議室

開催時間

PM6:00からPM8:30

参加費用 無 料

申込・問合せ方法 電話にて申込・問合せ下さい
神戸西・小林(健康財団080-1490-9729)



—神戸西支部—

マラソン部練習のお知らせ

マラソン部の練習といっても、マラソンの参加申込み等、自己責任ですが、皆で楽しみながら(練習後のお風呂と打上げ)行いますので、他支部や会員以外の方でも結構です！
様、奮って、入部してください。

なお、両日とも兵放技ハイキングと合同練習とさせていただきます。

暑さもピークとなっておりますので、熱中症等体調不良には充分注意してください。

練習日：平成25年8月18日(日)9:00

JR元町駅集合

摩耶山、黒岩尾根

平成25年9月1日(日)9:00

JR神戸駅集合

菊水山、鍋蓋山

練習内容：外周約2.2Kmを2時間程度

参加費：会員、非会員、一般 無料

準備：お風呂セット、夕食代

入部・参加方法 電話にて問合せ下さい
神戸西・小林(健康財団080-1490-9729)

—阪神支部—

平成25年度 第2回阪神支部学術勉強会のお知らせ

平成25年度第2回学術勉強会を下記の通り開催いたします。お問い合わせの上、ご参加くださいます様、お願いいたします。

日時：平成25年9月21日(土) 15:00～18:00

場所：兵庫医科大学3-1講義室

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

テーマ:脳疾患

1. 頭部領域の核医学
2. 脳波の基礎
3. 医師による講演
4. 施設見学

お問い合わせ:兵庫医科大学病院 放射線技術部

前田・上東

TEL 0798-45-6259

第153回神戸画像研究会からの お知らせ

日時：平成25年8月22日(木) 18:30～20:30

場所：ホクシンメディカル神戸本社営業部

1階 会議室

TEL 078-806-6772

演題：「心臓ペースメーカーについて
～検査対応機器等～」

演者：日本メトロニック株式会社 担当

会費：会員、会員以外 500円

問い合わせ先：北都病院 放射線科 稲葉

TEL 078-583-1771

第38回「MRIの基本」読書会のご案内

当会は、「MRIの基本 パワーテキスト」を輪読形式で読む勉強会です。重要な部分や理解しにくい部分は、スライドを使用したり、ディスカッションをして理解を深めていきます。現在、三名の方に司会進行役として参加していただいております。毎回趣向を凝らした内容になっています。興味のある章、または知りたい章だけでも結構ですので、是非ご参加ください。

第38回は、「Part I MRIの基本概念」

第13章 データ空間

(前回の進み具合により変更あり)

日時：平成25年8月22日(木) 19:00～21:00

毎月第4木曜日開催予定

場所：兵庫県立リハビリテーション中央病院 2F

第2・第3研修室

会費：会員・会員以外 100円

内容：「MRIの基本 パワーテキスト」監訳 荒木 力

お問い合わせ 兵庫県立リハビリテーション中央病院

放射線科 鳥居

TEL 078-927-2727(代表)

第86回大阪胃腸会(銀杏会)開催 のご案内

謹啓 皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

本年度の4月から、尼崎中央病院におきまして研究会を開催しております。幅広い世代の技師が携わっている消化管X線検査ですが、近年、その活躍の場は検診領域に比重がおかれてきています。そのような実情のなか、病院勤務者は撮影の機会も限られてきています。しかし、内視鏡検査のみでは到底、対応は困難と思われれます。CT、MRI検査に傾倒するなか、消化管X線検査を学ぶ機会も得られにくい昨今、技能の修得、また、指導的な役割を担う次世代の人材育成の場として、当研究会は、その一助を担っていかれたらと考えております。このような時代の流れに対応すべく、今回も以下の内容でお待ちしております。どうぞ、みなさん、奮ってご参加ください。

謹白

代表世話人 NPO精管構基準撮影法指導講師

今里胃腸病院 中園 直幸

記

日時：平成25年8月24日(土) 14:30～17:30

場所：尼崎中央病院 4階会議室

兵庫県尼崎市潮江1-12-1

TEL 06-6499-3045(代)

参加費：1,000円

内容

● 講座 I

NPO日本消化器がん検診精度管理評価機構による『統計について』

講師：NPO精管構基準撮影法指導認定技師

合志病院 中川 好久

● ドキュメント講座

『胃X線撮影に挑む、ゆとり教育世代』その④

出演：尼崎中央病院 中川 隼士

- **症例検討会** 司会症例担当: 恵生会病院 桑田 英樹
 ※馬場 保昌先生が塾長をされております、“馬場塾症例”
 も許諾を得まして1~2例紹介します。X線、内視鏡、切除
 標本、切除後病理組織写真、それぞれの対比など自己啓
 発に前向きな方には、非常に魅力ある内容となっております。

お問い合わせ: 合志病院 放射線科内 担当 中川 好久
 TEL 06-6488-1629

(放射線科直通)

FAX 06-6488-1941

*お電話での、お問い合わせは16:00~17:00
 にお願ひ致します

HP : <http://www.osaka-ichokai.com>

mail: info@osaka-ichokai.com

【ディスカッション】17:20 ~

事務局 : 兵庫県災害医療センター 放射線課 宮安 孝行
 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-3-1
 TEL 078-241-3131 FAX 078-241-2772

第65回いちょう会(斎暢会)開催 のご案内

盛夏の候、皆様方におきましては益々ご健勝のこととお慶び
 申し上げます。

第65回いちょう会を下記の日程にて開催致します。ご多忙
 中とは存じますが、皆様のご参加をお待ち申し上げます。

記

日時: 平成25年8月29日(木) 18:30~20:30

場所: 神鋼病院 新棟(5F) 大会議室

〒651-0072 神戸市中央区脇浜町1-4-47

内容: I. 胃X線撮影 ~前壁撮影~

II. 胃X線読影 ~形の異常~

III. 「症例検討」 ~精密検査例・検診指摘例~

※ 日本消化器がん検診学会胃がん検診専門技師認定制度
 更新単位(認定)

参加費: 500円

連絡先: 恵生会アプローズタワークリニック

放射線科 中川 寛

TEL: 06-6377-5620

(お問い合わせは午後4時以降にお願い致します)

E-mail: ichokai2000@yahoo.co.jp 担当/小豆 誠

<http://ichokaikenkyuukai.jp>

第7回近畿救急撮影セミナーのご案内

日時: 平成25年8月24日(土) 14:30~17:40

(受付開始14:00~)

会場: 国立病院機構大阪医療センター

緊急災害医療棟 3F講堂

〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

参加費: 1,000円

日本救急撮影技師認定機構対象セミナー 2ポイント

【開催内容】 ~胸部撮影を考える-ERからICUまで~

【特別講演】14:30 ~15:30

「今晚から使えるポータブル胸部単純写真の読影の基礎」

『見る』から『読む』へ」

聖マリアンナ医科大学病院 救命救急センター

医長 松本純一 先生

【技術講演1】15:40 ~16:10

「やさしいポータブル撮影のすすめ」

広島市立広島市民病院

放射線科 板原広史 先生

【技術講演2】16:10 ~16:30

「救急撮影における一般撮影の撮影条件と画像処理に関する

検討WG活動報告(胸部編)」

大阪市立大学医学部付属病院

中央放射線部 庄垣雅史 先生

【技術講演3】16:40 ~17:00

「胸部撮影を考えるER~ICU -2次救急医療施設-」

市立堺病院 放射線技術科 中西健 先生

【技術講演4】17:00 ~17:20

「胸部撮影を考えるER~ICU

-ER併設型3次救命救急センター」

神戸頭部研究会からのお知らせ

梅雨が明け、うだるような暑さの続く毎日ですが、夏本番の
 到来!! 何だか胸騒ぎがします!? さて、前回の定例会では
 seri. 「頭研が考える読影の進め方・ポイント」で脳の感染症
 と脳の血管病変の2本立てで進めました。前半の「感染症」
 では髄膜炎、脳炎、脳膿瘍を取り上げ、原因・症状・感染経
 路などの臨床的事項を丁寧にまとめた後、それぞれの画像の
 特徴を箇条書きで並べ、他疾患との鑑別点をみてゆきました。
 症例の表示形式が個々整っており、鑑別疾患のポイントがよ

く理解できました。後半は「血管病変」のなかでも脳動脈瘤に焦点を当て、破裂部位による画像の違いをまとめてゆきました。くも膜下腔の出血部位と出血量、その形状で破裂瘤の部位が特定出来ることが分かりました。また外傷性との鑑別もいくつかの症例をあげ、その特徴が理解出来ました。本シリーズも終盤に入り、徐々に所見の抑えどころが分かってきましたね。まさに読影力向上です。さて、今回の定例会はお休みさせていただきます。9月のお知らせは後日ご案内させていただきますので宜しくお願いします。速報!! 神戸頭部研究会特別講演会を11月16日(土)に開催いたします。何と!! 昨年に引き続き、脳外科学分野ではご高名な吉村紳一先生をお招きしご講演いただきます。詳細は後ほど!! (田上修二)

-医療サービス向上特別委員会-

原稿募集のご案内

医療サービス向上特別委員会は、我々診療放射線技師の患者様に対する説明責任を果たすことへの啓発活動を目的として、平成18年度兵庫県放射線技師会総会にて承認を受けて以来継続して活動を行っている特別委員会です。

ひとことに「医療サービス」と言いましても患者様への説明責任だけではなく、国の医療施策のような大規模なものから、現場スタッフ1人1人の心がけのようなものまで、その言葉が指し示すものは多種多様にわたっています。

当委員会では、個人の意識改革もしくは業務や環境改善の参考としてお役にいただけるよう、「医療サービス向上 ～我々の取り組み～」と称し、各施設における医療サービス向上のための取り組みについて情報をお寄せいただき、随時会誌に掲載させていただいております。

現在、会員みなさまからの「医療サービス向上」に関する情報を募集しております。どんな小さなことでも構いません、医療サービス向上を目指したご自身の取り組みを是非お寄せ下さい。

また、患者として他院を受診した際に印象が良かった施設や役立つ書籍・記事等の耳寄り情報など、「医療サービス向上」に関する情報がありましたら是非ご紹介下さい。

お寄せいただく情報および原稿について

原則として電子メールをご利用下さい。

原稿については下記要領で作成したファイルを電子メールに添付してお送り下さい。

なお、画像については、あらかじめ本文中にレイアウトのうえ、高精細画像が必要な場合はJPG等の画像データとして別ファイルにてお送り下さい。

使用ソフト: Microsoft Word

使用フォント: MSP 明朝 11 ポイント

ページ設定: A4 縦、余白上 37mm、下 38mm、右 20mm、左 20mm、2 段組、文字数 23 字、行数 48 行

宛先・お問合わせ

E-mail : hart@tiara.ocn.ne.jp

〒650-0022

神戸市中央区元町通5丁目2-3-1011

(公社)兵庫県放射線技師会

医療サービス向上特別委員会 水口健二郎宛

TEL 06-6482-1521

FAX 06-6482-7430

(兵庫県立尼崎病院放射線部)

【 兵庫県放射線技師会事務所について 】

お電話による対応時間は

月～金 の 10:00～16:30 です。

時間厳守およびおかけ間違いのないようお願いいたします。

TEL(078)351-5172

会費納入はお済みでしょうか？

本会は皆様の会費によって運営されています。会費納入期限が毎年9月30日となっております。スムーズな会務運営のため、できる限り早期での会費納入にご協力いただきますよう、お願いいたします。日本診療放射線技師会から届いております会費納入払込伝票にて、早期の会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。

会費納入状況（平成25年6月30日現在）

会 員 数 : 1,261名

会 費 納 入 率 : 45.60%

会 費 未 納 者 数 : 686名

(前年度会費未納者数 69名)

診療放射線技師のための医療経済学入門講座

～最終回～

<診療放射線技師の診療行為④>

助：外保連試算が、診療行為に対する報酬というものを能力と所要時間に分解して評価しているという話だよな。

格：そう、で、ちょっと回り道してみよう。外保連試算は特に外科手術に関して提唱しているんだけど、まずは一般的な労働と医療での労働、診療行為を比べてみようと思うんだ。

助：違うのかい？

格：ちょっと違うんだよ。まずは一般的な労働だよ。助さん、労働の報酬というのにはどんな要素がある？

助：要素？

格：何をもって報酬を支払うかだよ。

助：もう少し簡単に質問できないのかね……。そうだね～、能力かな、それとどれだけ生産したかなどかな……。

格：そういうことだよな。労働の報酬要素には能力、努力、時間が存在する。さっき、助さんは、どれだけ生産するか、って言ったよね。これは言い換えれば時間当たりどれくらいの生産をするか、できるか……。ということは努力しているかってことになるよね。密度努力とも言う。

助：生産性？

格：そう、そうすると、一般労働において3つの中で一定しているものが1つある。

どれかわかるかい？

助：……。時間？

格：そう、時間は一定だよな。一日の労働時間は8時間というように決められている。だから、その時間の中で努力する。そういうことだよな。生産性を上げ、そのアウトプットによって給料も変わるかもしれない、ということだ。

助：がんばっちゃうんだ。

格：でも、またここで情報の非対称性の問題だ。時間というのははっきりとしているよね。じゃ、その時間内での努力は経営者、管理者にきちんと伝わるかな、また、管理者は従業員が精一杯の努力なのか、まだ余力があるのかはきちんとわかるのかな？この場合、管理者が把握できるかが問題なんだけど、これはいわゆる情報の非対称性の問題になる。

助：そう厳密に言われると困るけど、ある程度は把握できるんじゃないかな……

格：能力もそうなんだけど、努力も評価するのが難しいところがある。精一杯やっているのか、まだまだできるのか、だからそれらに incentive をつけて生産性なり質を高めようとする。

助：まあ、そうだ。

格：そしたら、医療での労働、いわゆる診療行為の実行だね。この場合を考えよう。一般的な労働では時間を一定として扱った。医療でもそれでいいかな？

助：時間当たりの生産量ってことになるよね……

格：言い換えれば、時間当たりいくらCTをしたMRIをした、そして手術をしたかということになる。CT、MRIの件数はよく指標に用いられるけど、時間当たりの件数を念頭に検査をしているんじゃないよね。この患者さんにはこれこれ必要だから、とくにMRIなんかは疾患に応じてシーケンスを追加したりするから、その必要量が優先されて結果として件数となっている。

助：おいらも、何が何でも1時間あたりにこれだけさばかないとなんて思って検査はしないよ。

格：まして、手術となるとその術式によって時間はまちまちだよな。何としても1時間以内に……

助：なんてことはないだろう。

格：そうすると、医療の労働、診療行為の実施においては時間というものは一定ではないんじゃないかということになる。単に生産性という評価は適さない。

助：そうすると、他に一定なものがあるのかい？

格：そうなんだよ。さっき患者に対しての必要量と言ったけど、これって個々の患者に対して必要量を投入しているというこ

とで、全体としても必要量を投入している、そういう努力をしているってことになるよね。

助：なるよねって、格さん、うまくいうからそう思えてきたよ。

格：必要量を投入する努力を常に行っている。常にその努力を行うには医療倫理が働いているという仮定がある。その仮定がある限り必要量を投入しようとする努力、患者に最善を尽くそうとする努力は常に一定であるとみなされる。

助：ふむふむ

格：ということは、最初の3つの労働報酬の要素、能力、努力、時間。このうち努力が一定だから、評価を必要とするもの、incentiveを持たせるものは・・・

助：能力と時間ということになる。

格：正解。すると、外保連試算の報酬概念をもう一度みてみると、報酬は

$[\text{初任給の時間コスト}] \times [\text{経験年数指数}] (= [\text{給与指数}] \times [\text{技術度指数}]) \times [\text{所要時間}] + [\text{協力者の人件費}]$

だった。これを簡単にアルファベットを用いて表すと、[初任給の時間コスト]を C_0 、[経験年数指数] $(= [\text{給与指数}] \times [\text{技術度指数}])$ をA、これは能力を意味する。そして[所要時間]がTとなる。Tとともに一定の努力を要しているとする厳密には $T \cdot E^*$ だ。E*は一定だから省略すると、上の式は $C_0 \cdot A \cdot T + C_{\text{staff}}$ となる。

助：えっ、数式？

格：数式だけど、×と+しかないよ。すっきりするだろう。もう一度言うと、一般的な労働では時間は一定として扱われ時間T*は除外されE*が残るけど、医療では努力が一定、当然とするからE*が評価対象の要素として式に表れない。つまり一般労働とは違って、医療では時間Tは重要な報酬要素になるってことだ。さらに、突き詰めれば、これは密度努力すなわち時間当たりの投入努力だけでも、努力には技術を獲得するための努力、能力獲得努力というものがある。それは能力Aに含まれると考えて、その新技術を獲得して能力Aを発揮するということになる。

助：ちょっと休憩・・・大将、ビールおかわり！

格：あっしもこれを最初に師匠から聞いたときは、何がなんだかわからなかった。これで1年かかったよ。

助：ということは、診療行為を能力と所要時間に分けて析出する必要があるってことかい？

格：そういうことだ。次に、能力はどの場合でも重要な要素だ。じゃ、なぜ、所要時間という概念が重要なのか。それはDPC制度における包括支払いの報酬概念にある。おさらいだ。

助：OK

格：厚労省によればこうだ。「適切な包括評価をするため、評価対象は、バラつきが比較的少なく、臨床的にも同質性(類似性・代替性)のある診療行為又は患者群とする」「薬剤等のいわゆるモノ代や入院基本料等の施設管理運営の範疇」とある。

助：ふむ、それで

格：同質性の話しは以前に報酬制の違いのところでも話したよね。ここで重要なのは、放射線技師が行う診療行為すべてが、モノ代やバラつきの少ない診療行為なのであるか、ということだ。

助：モノ代に関して、評価がモノ代に埋没することはいいことではないということだったと思う・・・

格：そうすると、バラつきがあるものがモノ代に埋没しているとしたら・・・

助：それは・・・

格：たとえば、心臓CTの検査時間は平均92.2分、心臓MRIの検査時間は77.1分と多くの時間的、労働的コストを要している。さらに、平成20年医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況(厚生労働省)より試算によれば3D画像処理患者数は一月あたり51,498人とされ年間約62万件の処理を行っている。これに処理時間数をかけると・・・

助：え〜と・・・いっぱいだ、凄いな時間だよ。

格：そう、つまり膨大な時間量として努力が存在している。このように日進月歩で高度化する医療に真摯に対応し努力を重ね、多大な時間的、労働的コストを費やし、経験や努力、判断、そして所要時間が存在している実態がある。

助：必要量を投入しているんだけど、そこにはバラつきが存在して所要時間の差が大きいものが存在する。

格：それは、診療放射線技師が担う診療行為も例外ではないということなんだよ。それに、

「実施の有無によって報酬が大きく異なる手術料をはじめとする技術的な色彩の強い診療報酬項目を除外する」とも言われている。でも技術的な色彩は我々にも十分関係あるんじゃないかと思う。

助：つながったよ。外保連試算から診療放射線技師が担う診療行為がDPC制度が導入されて包括払いになってあきらめがちだったけど、政策要求することも可能かもしれないね。

格：そうなんだよ。それと、これらの特殊な行為、バラつきが大きくて技術度が高い行為を診療放射線技師の付加価値として専門放射線技師と認定放射線技師と連動させれば、医療の質向上に貢献するし、国民からもわかりやすい。情報の非対

称性や不確実性を補填する仕組みにもなる。だから国民からも支持され理解も得られるんじゃないかな。そうした時、政策要求として十分なものになると思うんだ。

助：なるほどね、よくわかったよ。

格：わかってくれたかい、それはよかった。

助：結構タフな話だったけど、一つの道標が見えたように思うよ。

格：そうかい、そう言ってくれるとうれしいよ。ところで・・・助さんには、ほんと長いこと付き合ってもらってありがとうよ。お寿司もおいしかったよ。最後にお礼として例の美人3姉妹の店に行こうか。

助：よし、・・・えっ、ちょっと待って・・・最後って・・・

格：これで一応終了だよ。

助：え～、まだどこかに行くのかい？

格：う～ん、もうどこにも行かないと思うけど、いろいろとさ、やりたいこともあって・・・

助：そうなんだ。まあ、たまには一緒に飲みに行こうよ。

格：もちろんさ

助：あの娘、覚えてくれてるかな・・・・・・・・

おわり

<文責： 蓬莱洋一（市立小野市民病院中央放射線室 経済学修士）>

遠藤久夫 「診療報酬制度の理論と実際」『医療保険・診療報酬制度』 勁草書房 2007

蓬莱洋一 「医療の質を確保するための技術評価と報酬制—DPC 制度と診療放射線技師の診療行為—」日本放射線技師会誌 vol. 59 No, 716 (2012)

外保連試算 外科系学会社会保険委員会連合 医学通信社 2012

齋 炳匡 「改革」のための医療経済学 メディカ出版 2006

1年間、お付き合いいただきありがとうございました。

医療と経済の統合に少しはお役に立てたでしょうか？

私の考えの原点は、下記の権丈氏の言葉にあります。

「市場のダイナミズムを享受しながら、そこに生きる人たちが、尊厳をもって人間らしく生きていくことができ、かつ、ひとりの人間として生まれたときに備えもっていた資質を十分に開花させることのできる機会が、ひろく平等に開かれた社会はいかなるものであるか？」という問いを意識して研究している。

この問いに対して、現在のところ、医療・介護サービス（高齢者・障害者を含む）、および保育・教育サービスを、あたかもみんなが自由に使って良い共有地のように、所得、住んでいる地域、まして性別などにかかわらず、利用することができる、すなわちダイナミックな市場を共有地で囲いこんだような社会を作ればよいのではないだろうか。そしていまひとつ付け加えるとすれば、働き方を自由に選択しても不当に不利にならない、すなわち就業形態選択の自由が保障された社会を作ればよいのではなからうかと考えている。

（権丈善一ホームページより）

この崇高な文章に出会った時、暖かさと明るさを体感し、自然とその世界へと誘われ今に至っています。

社会保障、医療は人間の経済・産業活動の中心ではなく、その中心はあくまでも自由な市場であり、その市場競争の中で、何らかの理由で退出を余儀なくされた、たとえば病気やケガになり思うように活動できなくなった、あるいは疲れ、そして人生の再出発の時に社会保障が暖かく支えてくれる、そのような社会の構築が必要であると考えます。医療を市場原理に委ねた場合、短期的には効率的に映るかも知れませんが、しかし、市場原理は排除の論理が厳然と存在します。ゆえに中長期的にはその弊害を知ることになり、その時、困われた社会保障の中に医療は存在しない、そのような状況も合わせて考える必要があるのではないのでしょうか。

一方で、病院事業を継続する上で利益は必要です。しかし、利益が何よりも優先されるとするならば、それは貨幣の神格化の道を歩み、本来持ち得ている倫理を崩壊の危機へと追いやることになりはしないだろうかとの危惧を抱いてしまうのです。

我々は、これまでも、そしてこれからも医学的最適と経営的最適の狭間で揺れるのかもしれない。しかし、本来の使命を忘れることがないのなら恐れることはない、そう思います。

《8月スケジュール(シャウカステン掲載分)》

《9月スケジュール(シャウカステン掲載分)》

8/1	(木)		
8/2	(金)		
8/3	(土)	電離箱式サーベイメータ校正実習	
8/4	(日)	診療放射線技師基礎講習「IMR」	
8/5	(月)		
8/6	(火)		
8/7	(水)		
8/8	(木)		
8/9	(金)	第77回 こうべ胃検診の会	p.3
8/10	(土)		
8/11	(日)		
8/12	(月)		
8/13	(火)		
8/14	(水)		
8/15	(木)		
8/16	(金)		
8/17	(土)		
8/18	(日)	マラソン部練習	p.3
8/19	(月)		
8/20	(火)		
8/21	(水)		
8/22	(木)	第153回神戸画像研究会 第38回「MRIの基本」読書会	p.4 p.4
8/23	(金)		
8/24	(土)	第86回大阪胃腸会(银杏会) 第7回近畿救急撮影セミナー	p.4 p.5
8/25	(日)		
8/26	(月)		
8/27	(火)		
8/28	(水)		
8/29	(木)	第65回いちろう会(斎暢会)	p.5
8/30	(金)		
8/31	(土)		

9/1	(日)	みき健康づくりの集い マラソン部練習	p.2 p.3
9/2	(月)		
9/3	(火)		
9/4	(水)		
9/5	(木)		
9/6	(金)		
9/7	(土)		
9/8	(日)		
9/9	(月)		
9/10	(火)		
9/11	(水)		
9/12	(木)		
9/13	(金)	ハイキング同好会	p.2
9/14	(土)		
9/15	(日)		

ニュース原稿等の投稿について

ニュース・ご意見は、下記いずれかの方法でお送りください。FAXご利用の方は送信元のFAX番号並びに送信者氏名の記入をお願いします。

なお、電子メールをご利用の方は、悪質なウィルスメールとの鑑別のため、お手数ですが件名の一部に「シャウカステン〇月号」の記入をお願いいたします。(不明なメールに関しては、開封せずご消去することがあります。)

原稿締切日は 前月の第3木曜日です。

E-mail : hyogo_gishikai_koho@yahoo.co.jp

(添付ファイル形式 Microsoft Word)

FAX : 078-382-6429

郵送 : 〒650-0017

神戸市中央区楠町7-5-2

神戸大学病院 放射線部

日下 亜起子宛